

生活場面でリハビリの効果を実感！

M様は昨年6月に左視床出血を発症され同年9月にすこやか生野入所、11月に退所し通所リハビリのご利用を開始されました。

ご利用当初は筋力や体力が著しく低下しており長距離歩行は困難、自宅内も押し車で移動されている状態でしたが、パワーリハビリやP-walkを実施する中で徐々に改善を認め、現在は押し車で300m程休憩なく歩かれたり、自宅内を伝い歩きで移動することが出来るようになりました。TUGでは初回(11月) 31.3秒から3ヶ月後(2月)は24.7秒と改善も見られています。



M様（パワーリハ歴 4ヶ月）

また生活場面でも「お風呂に入るときに疲れにくくなった」「着替えるのが早くなった」など変化も実感されています。今後は生活行為向上リハビリテーションも開始し更なる日常生活動作の改善を目指していきます。

体力測定	11月	2月
握力	0kg	5.6kg
片脚立位保持時間	14.2 秒	15.3 秒
ファンクショナルリーチテスト	17.5 cm	18 cm
座位体前屈	8.5 cm	12 cm
TUG	31.3 秒	24.7 秒

医療法人アエバ会

介護老人保健施設

すこやか生野

<https://www.aeba.or.jp>



アエバ会

検索

無料見学体験会随時実施中！

お気軽にお問い合わせください。



■入所・短期入所

TEL：06-6717-8002（代表）

■通所リハビリテーション

TEL：06-6717-8003（直通）

■居宅介護支援事業所

TEL：06-6717-8033（直通）

すこやか生野 入所での取り組み

ライフレンズ導入

すこやか生野では、入所やショートステイをご利用された利用者様へ、自立支援介護を主体に各専門職による様々な取り組みを行っています。在宅復帰を目指す方や、在宅と施設を行き来しながらADLの向上を目指す方など、利用者様の状態や目標に合わせて支援を行い、地域に根ざした在宅復帰・在宅療養支援施設を目指しています。

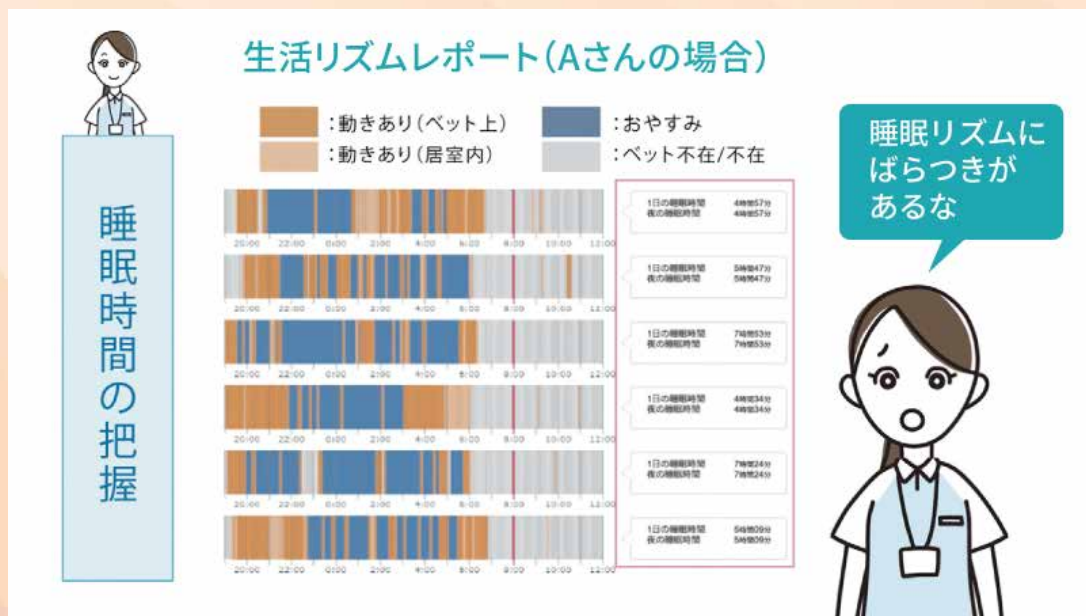
今回すこやか生野では、新たな取り組みとして、Panasonic のライフレンズを導入しました。

ライフレンズとは、シート型センサーと映像センシングで、状況を的確に把握できる次世代型の見守りシステムです。

ライフレンズを活用することで、24時間の生活リズムの把握ができます。(ベッド上のご様子、日中の活動など)



- 人の眼だけでは把握が難しい居室での活動やおやすみ中の状況がわかります
- レポートを確認することで生活リズムのズレに気づくことが出来ます



ライフレンズを活用することで生活リズムの比較ができます

●実績返却時に評価資料の配布

(ショートステイ時のご様子や体力測定データとともに、生活リズムレポートもお届け致します。)

☎ 06-6717-8002 (代表) 担当: 齋藤、青木



アエバ会グループのご案内 アエバ外科病院 病棟看護部

患者様に対して、思いやり、笑顔を忘れず、患者様のニーズに合わせた看護を促進します。

☎ 06-6715-0771 (代表) 担当: 三山

